議題４：電力・ガス自由化への対応について（東海市提出）

資料４

市名	回答		
	（１）契約の見直し方法と切り替えタイミング	（２）電力契約の見直しで、低圧電力契約の入札を行った事例。低圧電力契約の入札をしない場合の理由	
		ア　低圧電力契約の入札事例	イ　低圧電力契約の入札をしない場合の理由
名古屋市	契約の見直し及び切替のタイミングについては、いずれも各施設で実施。 市役所庁舎において、電力については毎年入札を行い10月に契約切替をしており、ガスについては入札を行っておらず、東邦ガスとの契約を自動更新。	各施設で入札を実施しているため、把握していない。	
豊橋市	電力は、平成24年度から随意契約から入札に切り替えております。	平成30年度下半期から行っています。	―
岡崎市	統一した方法では行っていない。 ※担当課単位で行っている（施設ごとや担当課でまとめるなど）	なし	新規参入事業者にメリットが少なく、入札した場合について事業者に確認したが、応札するという回答を得られなかったため、入札自体を行っていない。
一宮市	契約の見直し方法と切り替えタイミングについては、各施設の判断に任せており、統一した方法で行っていません。	なし	本庁舎をはじめとする複数施設でまとめて特別割引契約を締結しているため。
瀬戸市	検討中	なし	指定管理者が行ったケースで１施設契約の見直しを行っている。入札をしない理由としては、指定管理者が行ったことであるため、１年契約であることから見直しが容易であるためです。
半田市	現行、見直しを行っていません。	ありません。	見直しを行っていないため。
春日井市	統一した方法では行っていません。切り替えの時期の検討もされていません。	事例はありません。	高圧電力契約のみしているため。
豊川市	電気：見直しは、新電力（エネット・丸紅）単位で統一した方法で行っている。切り替えのタイミングは契約後なるべく早くとしている。期限は特に設けていない。 豊川市では、Ｈ２３．１１．１に高圧５８施設が、エネットからの供給を開始し、現在７７施設が供給を受けている。 ガス：自由化に着手していない。	入札の事例はない。	電力会社の選定について、エネリンクとＥＳＰ（エネルギーサービスプロバイダー）の随意契約をしており、既存電力会社と新電力５社を比較し、低価格であり信頼性がある新電力を選択している。
津島市	未導入	事例はありません	事務手順・時期等を把握していないため
碧南市	高圧電力契約については、統一した方法で行っており契約の満了に伴い更新している（毎年契約プランが適切かを契約者と検証している。）	事例なし	市内に大手電力会社があるため
刈谷市	・電力について 　平成24年度より、高圧電力施設（庁舎除く）に関しては全庁で統一してとりまとめ、３年間の長期継続契約での指名競争入札を行っております。また電力供給事業者の破産リスク分散のため２つに契約を分けて行っている。 ・ガスについて 　ガス自由化への対応を検討している中で、これまでのガス供給事業者からガス需給施設の一括契約化や長期継続契約による割引提案があった施設については、契約のとりまとめを行い、費用削減を図っている。	入札を行った事例はない。	費用削減率の低さや低圧電力を扱う新電力業者が少ないことが挙げられるほか、新電力業者が破産する事例等を受け、電力供給に支障が出る恐れがあるため、契約先となる事業者選定に関しては慎重な検討を要するとして、低圧電力契約の入札は行っていない。

市名	回答		
	（１）契約の見直し方法と切り替えタイミング	（２）電力契約の見直しで、低圧電力契約の入札を行った事例。低圧電力契約の入札をしない場合の理由	
		ア　低圧電力契約の入札事例	イ　低圧電力契約の入札をしない場合の理由
豊　田　市	現在は特命見積で行っているが、必要に応じて適切なタイミングで切り替えを行う予定	入札は行っていない	低圧、高圧に関わらず、現状は、特例を除きほぼすべての施設で中部電力との特命随意契約を締結している。そのため、低圧電力契約における入札をしない理由は特にない。今後入札に切り替えるかどうかは現在検討中である。
安　城　市	【電気】 買電については施設保全課で一括契約し、毎年10月に見直し。 売電については各課で契約しており、切替えタイミングも異なる。 【ガス】 各課で契約しており、切替えタイミングも異なる。	なし。	検討を行ったが、高い効果が見込まれなかったため現状維持。
西　尾　市	高圧電力については、平成24年度に全庁的に関係施設を調査し、契約の見直しを行いました。契約方法や対象施設は適宜見直ししており、現在は電子による指名競争入札によって96施設の契約先を決定しております。 ガスについては、従来どおり、施設ごとに契約しており、見直しは行っていません。	今年度高圧電力と同様に全庁的に見直し可能な施設の入札を検討しています。	低圧電力は、1施設当たりの規模が小さく事業者の参入が見込めなかったため。
蒲　郡　市	庁舎、庁外施設等の組織部門別に統一した方法で実施。 年度初めに庁舎、庁外施設担当者で集まって電力入札会議を複数回実施。 会議での主な議題について ・入札方法及び入札までのスケジュールについて ・前年度入札の改善点について ・仕様書案、入札内訳案について確認 ・入札順番等について 切り替え時期は７月。	なし	想定してない（高圧の契約しかできないと思うが。。。）
犬　山　市	電力供給事業者より提案してもらい、電力料金削減できる事業者と契約しました。 契約期間は令和元年6月1日から令和3年3月31日までです。	低圧電力契約の入札はしておりません。	高圧電力と併せて、低圧電力もPPS事業者に提案を依頼したところ、当市の規模ではメリットが無いため断られました。 中部電力にプラン見直しの提案をもらい、数施設は年間数万円ですが削減できることになりました。
常　滑　市	高圧施設のうち、小学校等を始め28施設を新電力業者と契約しています。契約期間は２年間であるため、期間満了時に契約内容の見直しを行い、一般競争入札にて契約先を決定しています。	電力小売の自由化以降も従来受電している中部電力株式会社から変更していないため、入札事例はありません。	
江　南　市	高圧電力につきましては平成２６年から新電力からの提案により、メリットのある施設については随意契約で変更しています	行っていません	高圧電力に比べ、金額のメリットが少ないため
小　牧　市	小牧市では、H25年度より２市３町広域行政研究会電力部会（小牧市・岩倉市・大口町・扶桑町・豊山町）において、スケールメリットを活かした電気料金の削減と環境配慮を目的に、共同で電力の調達を行っています。 対象施設は50ｋｗ以上の高圧電力施設で、施設区分は特になし。事業者の切り替えのタイミングは、電力部会において、定期的に現状を確認し概ね３年程度で見直しを行うものとしている。 ガスについては電力部会として情報収集に着手した段階。	２市３町広域行政研究会電力部会では、低圧電力を対象としていないため、低圧電力契約の入札を行った事例はなし。（各施設が任意に契約変更を行っている場合は関与せず）	－

市名	回答		
	（１）契約の見直し方法と切り替えタイミング	（２）電力契約の見直しで、低圧電力契約の入札を行った事例。低圧電力契約の入札をしない場合の理由	
		ア　低圧電力契約の入札事例	イ　低圧電力契約の入札をしない場合の理由
稲　沢　市	電力については、平成25年度に県内他市町村の状況（約60％が特定規模電力事業者（PPS）へ切り替え）を鑑み、特定規模電力事業者（PPS）5社へ高圧業務電力契約の全66施設における提案書（見積書）の提出を依頼し、最も削減額が大きい特定規模電力事業者を選定・契約をし、中部電力㈱から切り替えている。	入札事例なし。	低圧電力については、検討に至っていないため。
新　城　市	部門別（庁舎・学校施設）で統一して契約の見直しを行い、新電力と契約した 切り替えのタイミングについて取り決めたものはない	低圧電力契約の入札事例はない	低圧電力契約の入札の検討をこれまで行っていない
東　海　市	議題提出市により省略	議題提出市により省略	議題提出市により省略
大　府　市	高圧電力については、現状は15施設総務課にて一括契約、その他は各課ごとに行っているので今後一括契約できないか現在検討中（指定管理施設は除く） 契約日は、4月1日を基準日として考えているが、ガス契約が6月1日であるので変更することも検討している。	該当なし	以前、低圧電力で中部電力以外で契約が可能か他社に聞き取りをしたところメリットがない旨回答がありその後検討をしていない
知　多　市	契約の見直しの検討はしていません。	入札事例はありません。	市内に火力発電所等を有しており、災害時の相互援助や応急対応の協力についての協定を締結している電力会社であるため。
知　立　市	電力（高圧）に関しては、水道施設を除く市所有全施設(22施設)を取りまとめ、概ね2年ごとに入札を実施し、切替ています。 電力（低圧）、ガスについても、全施設を取りまとめ、見直しを実施しています。ただし、現状では、入札は行わず、随意契約としています。	（１）で記載したとおり、入札事例はありません。	低圧は、高圧に比べ、削減効果額が非常に安く、その割に事務手間がかさみ、かつ参入業者も少ないため。また少しずつ検証を重ねながら見直しを図っているため。
尾 張 旭 市	電力については、市内の高圧受電契約施設（指定管理者が運営する施設を除く）を一括し、入札により事業者を決定している （H31.3.31の契約までは随意契約としていた。）。 ガスについては、各施設ごとで都市ガス会社（東邦瓦斯㈱）と随意契約 ※プロパンガスは市全体で単価契約	なし	低圧電力契約をしている施設所管課にて検討したが、ほとんどメリットが見いだせなかったため。
高　浜　市	契約の見直しは行っていません。	事例はありません。	―
岩　倉　市	電気（高圧）については、小牧市、大口町、扶桑町、豊山町と本市で構成する「２市３町広域行政研究会電力部会」にて、入札を実施している。 その他については、施設所管課ごとの判断による。	入札を行った事例はない。	低圧電力契約の入札について検討をしたことがないため。
豊　明　市	電力については今年7月から尾三の共同調達に移行、庁舎、学校、そのほかの施設で高圧契約のところはすべてこれに移行した。	入札事例はありません。	すべてを中部電力でないところと契約した場合災害時などの協力体制に不安がある。また、中部電力の低圧のプランでメリットのあるプランがあった。
日　進　市	財政課で市内公共施設の取りまとめを行い、切替のメリットができるものに対して切替を行なった。令和元年度については、尾三地区連携を行なっている自治体のうち、４市町と消防組合と共同で購入した。	平成２６年度よりプロポーザルによる契約を行なっている。なお、平成３０年度より日進市、東郷町、令和元年より日進市、東郷町、豊明市、みよし市、尾三消防組合にて共同調達を実施している。	

市名	回答		
	（１）契約の見直し方法と切り替えタイミング	（２）電力契約の見直しで、低圧電力契約の入札を行った事例。低圧電力契約の入札をしない場合の理由	
		ア　低圧電力契約の入札事例	イ　低圧電力契約の入札をしない場合の理由
田　原　市	高圧電力の調達契約を施設ごとの契約電力（５００ｋｗｈ基準）により区分けした上で入札 切替えタイミング：各施設毎年１０月又は１１月	ありません。	契約種別及び施設件数が多く、取りまとめに要する事務量が膨大なため。
愛　西　市	高圧施設のみ一括して入札契約を行っており、１年契約としている	なし	特になし
清　須　市	平成25年2月から高圧電力施設のみ新電力を導入済みである 導入の際は、市内公共施設（高圧電力施設）を対象とした調査を行い、従来の契約から変更したほうがメリットがあると思われる施設について、財政課が一括で契約変更を行った	入札事例はない	高圧電力と比較すると、新電力への切り替えによる削減額が少ないことと、取扱いをしている業者についてもあまり多くないため
北名古屋市	電力については、総務課主導で平成２４年１０月から、電力の小売自由化に伴い、契約電力が５０Kw以上の需要者は中部電力以外の電気事業者からの電気調達が可能となったため、比較検討をした結果、電気料金が安価となるメリットがあることにより、株式会社エネリンクと庁舎を含む２７公共施設との契約を随意契約で交わしている。 ガスについては、見直しを行っていない。	ない	
弥　富　市	・高圧電力契約は総務課で実施しており、契約更新時に見直しをしている。 低圧電力契約については各施設ごとで対応をしている。 ・都市ガスは２施設が該当している。契約更新時に見直しをしている。	事例はありません。	低圧電力については、各施設ごとで対応しているため。
みよし市	電力については、H30年度より、近隣市町（みよし市、日進市、豊明市、東郷町、尾三消防組合）と公募型プロポーザルによる電力の共同調達を行っている。履行期間はR1.6.1からR2.5.31までの1年間とし、次年度も同じ手法により契約を行う予定である。 ガスについては、従前（東邦ガス）のままである。	なし。	施設管理者ごとに契約を行っており、その状況を把握することが困難であるため。
あ　ま　市	平成２６年度に高圧電力の対象となる施設はまとめて見直しを図っております。	該当ありません。	低圧電力の見直しによる削減効果をまだ検証していないため。
長久手市	高圧電力については、財政課で一括して市役所庁舎始め１５施設をまとめて契約しています。 平成２５年３月から電気料金の削減を目的に、特定規模電気事業者と受給契約を結んでいます。契約期間は１年（現契約は１年３か月）で、毎年業者選定を行っています。直近は、指名競争入札にて事業者を決定しています。	低圧電力契約の入札事例はありません。	低圧電力契約については、今後の検討課題としています。